

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



# 学校だより

No. 7 さいたま市立神田小学校

令和5年 11月 1日発行 TEL (853) 4377  
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
たくましく生きる神田の子  
・かしこく・たくましく・あたたかく

「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇（あだ）は敵なり」

校長 米玉利 優子

十五夜の美しい月を見ながら、昔の人はこうして深呼吸をしながら空を見上げたり、ゆったりと景色を眺めたりしていたのだろうと秋の夜長を感じていました。ふと、戦国武将の武田信玄の名言として残されている表題の言葉を思い出しました。「りっぱな城があっても、人の力がないと役に立たない。国を支える一番の力は人の力であり、信頼できる人の集まりは強固な城に匹敵する。」という信玄の考え方や生き方を表しています。

学校もすばらしい物的教育環境が充実していても、子どもと向き合う教職員に愛情や熱意、力量がなければ教育効果を上げることはできません。子どもと共に歩んでくださる保護者、子どもたちを大切に思ってください地域の方がいてこそ、学校という城は成り立っています。そして、石垣は同じ大きさの石では作れません。大小様々な形や大きさがあるからこそ、城を支える強固な石垣ができるのです。それが、まさに子どもたちなのではないでしょうか。1人1人のよさや特徴は違いますが、神田小学校の一員として、寂しそうな友達に声をかけたり、励ましたり、一緒に遊んだり、共に笑い合ったり…様々な方法で共に生きる仲間を支えてくれています。多くの人の力と思いを感ずる実りの秋です。

「音楽会は体育館でやるのですよね。じゃ、体育館周りをきれいにしておきますね。」「人の力ってすごいですね。1人で側溝掃除をしたら何日もかかるけど、数時間で終わってしまいましたね。」10月22日（日）校庭開放団体の方々が校庭等の清掃や除草をしてくださいました。10月28日（土）には、PTA主催のオータムフェスタが開催され、子どもたちも参加できる劇、夜には花火大会が行われました。参加した子どもたち、保護者の方、卒業生、地域の方等、たくさんの方から拍手や歓声が沸きました。誰かの笑顔のために自分ができることを考え、行動してくださる地域の皆様、PTAの方々から感謝申し上げます。

紅葉の美しい日光への修学旅行では、6年生が華厳の滝で出会った外国の方へ「ハロー」と元気な挨拶をしたりハイタッチをしたり…外国からの旅行者をあっという間に笑顔にしていました。昨年も同じような光景を見たなど嬉しく思うと同時に、「小さな日本代表」の笑顔とコミュニケーション力は神田小の素晴らしい伝統なのだと感じます。「お食事おいしかったです。」「朝早くからありがとうございます。」ホテルの方へのあたたかい言葉が響いたあの景色と「神田小学校のお子様には、これからもずっと来てほしいです。」と言っていた言葉を思い出しながら、これこそが、情けは味方ということなのだと感じ…「人を大切に生きよ」と月のうさぎが微笑んだ気がしました。

輝く月や紅葉を見て感動したり、本の世界に入り込んだりできる心のゆとりをもち、今月も人を大切に、教職員一同、全ては子どもたちのために精進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、城を築く一員として、あたたかい御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。